



第
277
回

第
278
回

日本
センチュリー

交響楽団



チェロ: アントニオ・メネセス
Antonio Meneses / Cello
©Clive Barda

ヴァイオリン: 須田 祥子
Sachiko Suda / Viola
©平野 智子

指揮: 秋山 和慶
Kazuyoshi Akiyama / Conductor
©s.yamamoto

ヴァイオリン: 三浦 文彰
Fumiaki Miura / Violin
©Yuji Hori

指揮: 飯森 範親
Norichika Imori / Conductor
©山岸 伸

巨匠・秋山が誘うベートーヴェン傑作の森!
名手・メネセスを迎えて挑む
「ドン・キホーテ」!!

若手ヴァイオリニストのトップランナー
三浦文彰、待望の登場!
飯森&センチュリー、5度目のブルックナー



© s.yamamoto

2023 11/24 (金) 19:00 開演
(18:00 開場)
ザ・シンフォニーホール

2024 1/12 (金) 19:00 開演
(18:00 開場)
ザ・シンフォニーホール

ベートーヴェン: 交響曲 第4番 変ロ長調 作品60
L. v. Beethoven: Symphony No.4 in B-Flat major, Op.60

ショスタコーヴィチ:
ヴァイオリン協奏曲 第1番 イ短調 作品77
D. Shostakovich: Concerto for Violin and Orchestra No. 1 in A minor, Op. 77

R. シュトラウス: 交響詩「ドン・キホーテ」作品35
R. Strauss: Don Quixote, Op.35

ブルックナー:
交響曲 第3番 ニ短調 WAB 103 「ワグナー」
(1873年ノヴァーク版第1稿)
A. Bruckner: Symphony No. 3 in D minor, WAB 103, "Wagner-Symphonie"
(1873, Ed. L. Nowak)

助成: 公益財団法人 ロームミュージックファンデーション

公益財団法人アフィニス文化財団



一般発売日 2023年7月21日(金)

一般発売日 2023年9月25日(月)

ご予約・お問合せ センチュリー・チケットサービス TEL. 06-6848-3311 (平日10:00~18:00)



対象公演

スペシャルスポンサー

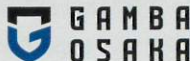
フレンドシップパートナー

主催: 公益財団法人日本センチュリー交響楽団 <https://www.jcso.or.jp>

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (創造団体支援))
文芸春秋 独立行政法人日本芸術文化振興会

●未就学児入場不可 ●やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

地主株式会社 旭酒造株式会社
JINUSHI Co., Ltd.



オフィシャルスポンサー

栄光ホールディングス株式会社 / MK MKGILBERT / 株式会社エムス住建設 / ONKYO / Kaneka / 共栄法律事務所 / KINCHO / TheSymphonyHall / 新コスモス電機株式会社

TCG 高松コンストラクショナルグループ / S Shadow / TAKUMA / TOYO TIRES / 日本ペイントホールディングス / Hankyu / THE HILTON PLAZA / Phoxter / 三井住友信託銀行

日本センチュリー交響楽団 第277回・第278回定期演奏会

第277回定期は、秋山和慶ミュージックアドバイザーが誘う極上のコンサートのお目見えです。ベートーヴェンの「交響曲第4番」は「傑作の森」と呼ばれる時期に生まれた、幸せな温もりと力強さに溢れた珠玉のシンフォニーです。後半はブラジル出身・チェロの世界的名手、アントニオ・メネセスが8年ぶりに登場！当団の首席客演奏者の須田祥子とともに、R. シュトラウスの大作「ドン・キホーテ」に挑みます。深まる秋、チェロ（ドン・キホーテ）とヴィオラ（サンチョ・パンサ）、そしてオーケストラの大活躍にご期待ください！
新年初めの第278回定期では、飯森範親マエストロが得意とする作曲家が並びます。ソリストには国際的に活躍する三浦文彰が満を持してセンチュリー定期に初登場！ショスタコーヴィチの深遠な世界を豊富な経験に裏付けされたテクニックと情感こもった演奏で届けてくれることでしょう。ブルックナーの「交響曲第3番」は、ワーグナーに献呈されたという一曲。ワーグナーのオペラの引用が味わえるマエストロこだわりの「第1稿」で演奏されます。

指揮：秋山 和慶 (日本センチュリー交響楽団
ミュージックアドバイザー)
Kazuyoshi Akiyama / Conductor



◎ 堀田力丸

1941年生まれ。齋藤秀雄のもとで指揮法を修め、1963年に桐朋学園大学音楽学部を卒業。翌年東京交響楽団を指揮してデビューののち同団の音楽監督・常任指揮者を40年間にわたり務める。その間、アメリカ響音楽監督、バンクーバー響音楽監督（現在桂冠指揮者）、シラキウス響音楽監督、大阪フィル首席、札幌響首席、広島響首席、九州響首席などを歴任。

また、NYフィル、ボストン響、クリーヴランド管、シカゴ響、スイス・ロマン管など世界の一流オーケストラに客演している。これまでにサントリー音楽賞、芸術選奨文部大臣賞、大阪芸術賞、毎日芸術賞、川崎市文化賞などを受賞。2001年紫綬褒章、2011年旭日小綬章を受賞。2014年度文化功労者に選出。2014年指揮者生活50年を迎え、2015年2月には回想録「ところで、きょう指揮したのは？」（共著／アルテスパブリッシング刊）を出版。

現在、中部フィルハーモニー交響楽団芸術監督・首席指揮者、日本センチュリー交響楽団ミュージックアドバイザー、岡山フィルハーモニック管弦楽団ミュージックアドバイザー、東京交響楽団桂冠指揮者、広島交響楽団終身名誉指揮者、九州交響楽団桂冠指揮者、オオサカ・シオン・ウィンド・オーケストラ芸術顧問など多くの任を務めるほか、洗足学園音楽大学芸術監督・特別教授、京都市立芸術大学客員教授を務めている。

チェロ：アントニオ・メネセス
Antonio Meneses / Cello



◎ Clive Barja

1957年、ブラジルの音楽一家に生まれ、10歳でチェロをはじめる。16歳で著名イタリア人チェロ奏者アントニオ・ヤニグロと出会い、門下生となり渡欧。1977年にはミュンヘン国際音楽コンクール、1982年にはモスクワのチャイコフスキー国際コンクールで優勝を果たす。世界有数のオーケストラや世界を代表する指揮者との共演も多く、その中には、ベルリン・フィル、コンセルトヘボウ管、ロンドン響、サンクト・ペテルブルグ響、ニューヨーク・フィル、カラヤン、ヤンソン、アバド、テミルカーノフ等が挙げられる。また室内楽奏者としても高い評価を得ている。レコーディングも活発に行っており、ドイツ・グラモフォンから発売されたカラヤン指揮ベルリン・フィルとのブラームスの二重協奏曲（vl. アンネ・ゾフィー・ムター）とR. シュトラウスの「ドン・キホーテ」の2枚は現在でも高い評価を得ている。後進の指導にも熱心で、2008年からはベルン音楽院で教えている。

ヴィオラ：須田 祥子 (日本センチュリー交響楽団 首席客演奏者)
Sachiko Suda / Viola



◎ Yui Hara

桐朋学園大学在学中にヴァイオリンからヴィオラに転向、同大学を首席で卒業。第23回ヴィットリオ・グイ国際コンクールを始めとする多数のコンクールで第1位優勝。2015年5月「題名のない音楽会」及び2016年11月「ららクラシック」ヴィオラ特集、同月の「題名のない音楽会」の「弦楽四重奏特集」に出演。2016年1月には「報道ステーション」で白川氷柱群の前からヴィオラだけのソロ演奏が生中継された。また2018年6月NHK-FM「きらクラ」の水戸での公開収録、2020年2月には「今日は一日ピアノ三昧」にゲスト出演。
現在、東京フィルハーモニー交響楽団首席奏者、日本センチュリー交響楽団首席客演奏者、「アクロス弦楽合奏団」「ザ・シンフォニーエッタみよし」のメンバーを務める他、ピアノ演奏集団「SDA48」を主宰。洗足学園音楽大学非常勤講師。CD「ピアノは歌う」シリーズ、「びおらぞんまじ」[VIOLA INFINITY]をリリース。レッジュ4スタンス理論マスター級トレーナー。

指揮：飯森 範親 (日本センチュリー交響楽団 首席指揮者)
Norichika Iimori / Conductor



◎ 山岸伸

桐朋学園大学指揮科卒業。ベルリンとミュンヘンで研鑽を積み、94年から東京交響楽団の専属指揮者、モスクワ放送交響楽団特別客演指揮者、広島交響楽団正指揮者などを歴任。96年の東京交響楽団ヨーロッパツアーでは「今後、イイモリの名が世界で注目されるであろう」と絶賛された。その後、同楽団とは密接な関係を続け、正指揮者、特別客演指揮者を務めた。03年、NHK交響楽団定期演奏会にマーラーの交響曲第1番でデビューを飾る。06年度 芸術選奨文部科学大臣新人賞。

海外ではフランクフルト放響、ケルン放響、チェコ・フィル、ブラハ響などに客演を重ねる。01年よりドイツ・ヴェルテンベルク・フィルの音楽総監督（GMD）に就任し、ベートーヴェンの交響曲全集を録音。日本ツアーも成功に導いた。現在、パシフィックフィルハーモニー東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。2023年4月より群馬交響楽団常任指揮者に就任。
オフィシャル・ホームページ <http://iimori-norichika.com/>

ヴァイオリン：三浦 文彰
Fumiaki Miura / Violin



◎ Yui Hara

2009年世界最難関と言われるハノーファー国際コンクールにおいて、史上最年少の16歳で優勝。国際的に一躍脚光を浴びた。これまでロサンゼルス・フィル、ロイヤル・フィル、マリンスキー劇場管、チャイコフスキーシンフォニーオーケストラ、ベルリン・ドイツ響、フランクフルト放送響、エーテボリ響などと共演。共演した指揮者には、ドゥダメル、ゲルギエフ、フェドセーエフ、スーカーマン、ロウヴァリなどが挙げられる。サンクトペテルブルクの白夜祭、宮崎国際音楽祭、シュレスヴィヒ=ホルシュタイン音楽祭などの国際音楽祭にもたびたび招かれる。国内では、大河ドラマ「真田丸」テーマ音楽を演奏したことやTBS「情熱大陸」への出演も大きな話題となった。18年からスタートしたサントリーホールARKクラシックスではアーティストック・リーダーに就任。ロンドンの名門ロイヤル・フィルのアーティスト・イン・レジデンスも務める。22/23シーズンには、バルセロナ響、ウィーン室内管などと共演し、ピリスとのデュオリサイタルも行う。また、ウィーン、パリではリサイタルを行い絶賛を博す。スペインのアリカンテ響には、指揮者として登場した。CDはエイベックス・クラシックスよりリリース。09年度第20回出光音楽賞受賞。22年「Forbes」Asiaにおいて「30 under 30(世界を変える30歳未満の30人)」に選出される。使用しているヴァイオリンは、宗次コレクションより貸与されたストラディヴァリウス1704年製作「Viotti」

管弦楽：日本センチュリー交響楽団 街に響く。心に届く。

Japan Century Symphony Orchestra / Orchestra

1989年に活動を開始し2019年に楽団創立30周年を迎えた大阪府・豊中市を拠点とするオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏録音プロジェクト「ハイドン・マラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズと2拠点で定期的な演奏会を開催。オーケストラ体感コンサート「タッチ・ジ・オーケストラ」、特別支援学校コンサート、ユースオーケストラの運営といった教育プログラム、「豊中まちなかクラシック」(豊中市)、「ルシオール街かどコンサート」(滋賀県守山市)等の地域連携事業にも力を入れている。
オフィシャル・ホームページ <https://www.jcso.or.jp> (リニューアルしました)



チケット取扱い

- 各回
A席 6,500円 / B席 5,000円 / C席 3,500円 / D席 1,500円
- ザ・シンフォニーチケットセンター TEL.06-6453-2333 (10:00~18:00 火曜休)
- チケットぴあ <https://t.pia.jp/> Pコード：232-821 (#277) / 232-822 (#278)
- e+ (イープラス) <https://eplus.jp/>
- ローソンチケット <https://l-tike.com/> Lコード：54095 (#277) / 54251 (#278)
- センチュリーチケットサービス
TEL.06-6848-3311 (平日10:00~18:00)
<https://www.jcso.or.jp>



●未就学児入場不可 ●やむを得ない事情により出演者・曲目等が変更になる可能性があります。予めご了承ください。

シンフォニー定期演奏会場 送迎バス運行中！

●区間：大阪駅～ザ・シンフォニーホール間の送迎 ●運行回数：開演前と終演後 各2便ずつ ●乗車運賃：一回100円 *定期会員様は無料でご利用いただけます。(U-35席除く)